看護局いきいき通信

編集委員：谷車紗矢香（図書委員長）染田遥　浦東玲奈
発行責任者：飯尾美和
平成２９年５月発行(年３回発行：春号)

日ごとに暖かさを感じられるようになりましたが、皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。
今年も、引き続き看護局の動向を伝えていきますので、どうぞよろしくお願いいたします♡♡

＊山本里美師長さんにお話しを伺いました。

地域包括ケア病棟は急性期治療後さらに回復をはかり在宅復帰を目指すために、リハビリを継続したり、患者さんやご家族への在宅指導など退院準備を整えるための支援を行う病棟です。平成 27 年８月に地域包括ケア病棟に移行し1年半が過ぎました。移行後しばらくは対象者のスムーズな受け入れができず、病棟稼働率 50%をきる現状もありました。毎月行われる多職種との検討会では、地域包括ケア病棟の稼働率向上に向けた話し合いが行われ、また病棟スタッフ達は地域包括ケア病棟の役割を果たすために生活リハビリや、誤嚥性肺炎による嚥下機能回復、認知症を有する患者さんのケアなどＡＤＬを拡大し目標である在宅復帰を目指し積極的に退院支援に取り組んできました。転棟してこられる患者さんには少しでもやすらぎを感じてもらえるようレクリエーションをおこなったり、デイルームを改装しいつでも患者さんたちが集えるよう環境調整を行っています。現在は 90%を超える稼働率のなかで、患者さんご家族が納得できる退院に向けて多職種連携をはかりながら日々頑張っています。

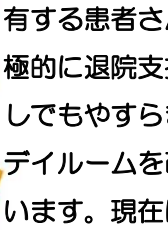
４Ａ病棟　山本里美

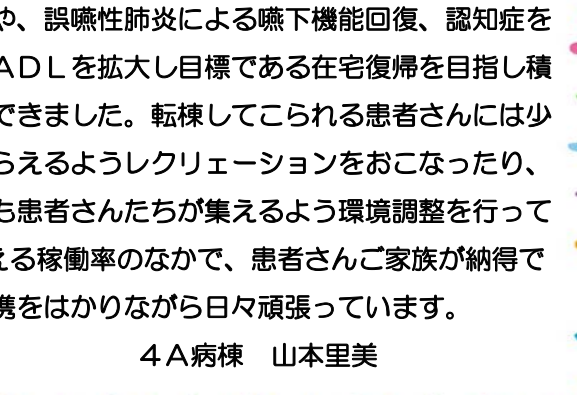
新人歓迎会

今年は、新しく 15 名の新人さんを迎えました。観迎会では 70 人の参加があり、各病棟の出し物やビンゴゲームもあり、楽しい時間を過ごされていました。

厚生お食事会

厚生委員会を中心に、辻甚で４回のお食事会が開催されました。
たくさんの方の参加があり、大変盛り上がりました♡♡





院内認定合格者

※褥瘡対策院内認定に合格された方を、紹介します。

左から、勝谷直子さん　宅間あゆみさん　山中梨恵さんです。

WLBの取り組み

※細川師長さんにお話しを伺いました。

当院のワーク・ライフ・バランス（WLB）推進委員会が結成されて約３年半が経過しました。ワーク・ライフ・バランスとは、仕事と仕事以外の生活の調和が図られ、相互に良い影響を及ぼし合う状態をいいます。*委員会結成当初は、ワーク・ライフ・バランスの言葉自体の認知度が低かったですが、今では、各種制度の利用者も増加し、ワーク・ライフ・バランスという言葉もすっかり浸透したと思います。*

ワーク・ライフ・バランスの実現度が高いと、生きがいや働きがいが高まり、やる気も能率も上がることでしょう。当院の WLB 推進委員会のメンバーの大半は係長です。制度や条例を変えるような大きな改革は出来ませんが、業務の改善は可能です。委員会目標は、『①制度を周知し、利用することで働き続けられる職場をめざす　②働きやすい職場風土を作り、看護師満足度の向上をめざす』です。皆で、生き生きと働き続けられる職場にしていきましょう。